

AGUD・P Library Letter

2025年 4月利用状況

令和7年5月1日

(1)開館日数及び入館者数

昼間・9:00～17:30(末盛18:00)、夜間・17:30(末盛18:00)～20:00

	開館日数		入館者数		
	昼間	夜間	昼間	夜間	合計
楠元	25	21	4,243	529	4,772
末盛	24	21	1,123	70	1,193
合計	—————		5,366	599	5,965

学外利用者(登録なし)	楠元	2
	末盛	0

(2)帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計
人数	61	68	4	133

帯出人数「学生」のうち :人

歯学部学生	薬学部学生	短大生
28	15	5

(3)帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	121	121	7	249

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件数		件数
学外受付	12 (3)	学外貸出	1 (1)
学外依頼	11 (2)	学外借受	1 (0)
合計	23 (5)	合計	2 (1)

※()内数字は大学図書館以外

(4)-3CAN図書貸借依頼件数

	件数
学外貸出	0
学外借受	1
合計	1

(4)-4学内図書貸借依頼件数

	件数
学内貸出	11
学内借受	18
合計	29

春休みが明け、学内が賑やかになって1ヶ月。この間、世間では「本屋大賞」が発表され、今年『カフネ』(阿部暁子著/講談社)が大賞を受賞しました。この作品をはじめ、今回ノミネートされた10作品はすべて愛知学院大学の日進・名公キャンパス図書館に所蔵されており、本学の学生さんや先生方は取り寄せも可能です。当館では『成瀬は信じた道をいく』(宮島未奈著/新潮社)のみ所蔵していますが、こちらは昨年本屋大賞を受賞した同著者の『成瀬は天下を取りにいく』の続編です。これらの10作品は5月1日現在、ほぼ全ての図書が貸出中で、中には予約が数人待ちの図書もあり、利用者の方々の関心の高さがうかがえます。

小説といえば、新年度の当館コンセプトコーナーでは「文学は言葉の宝庫—濃厚な物語と詩の芸術で語彙力を上げよう—」というテーマで、5月末まで小説・詩集を紹介・展示中です。厳選した一つ一つの作品から、作家や詩人が言葉を駆使して構築した世界を味わうことができ、こちらもおすすめです。本との出会いもご縁。あなたもこの機会に、気になった作品のページをひらいてみませんか。